

実験名称	大阪貨物ターミナル駅構内物流倉庫を活用した、宅急便、メール便及び流動機材の鉄道輸送実証実験							
実験概要	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離トラック輸送(一部フェリー輸送)の、鉄道へのモーダルシフト ・宅配貨物収納カゴやクールボックスといった流動機材を効率よく集配 							
申請者	荷主等	ヤマト運輸(株)			物流	日本貨物鉄道(株)		
実験期間	H15年12月～H16年12月(1年間)							
輸送経路	現行	岡山市,香川県多度津町(トラック) 敦賀港(フェリー) 苫小牧東港(トラック) 札幌市 九州各地,中国各地,中部各地,関東各地,大阪府内各地(トラック) 大阪 大阪市住之江区(トラック) 長野県長野市 大阪府寝屋川市,兵庫県伊丹市(トラック) 宮城,東京,新潟,愛知,香川,福岡 大阪府寝屋川市,兵庫県伊丹市(トラック) 敦賀港(フェリー) 苫小牧東港(トラック) 札幌市厚別区						
	転換後	岡山市,香川県宇多津町(トラック) 大阪夕駅(鉄道) 札幌夕駅(トラック) 札幌市厚別区 九州,中国,中部,関東(トラック) 各地の最寄駅(鉄道) 大阪夕駅 大阪夕駅(鉄道) 北長野駅(トラック) 長野市 大阪府寝屋川市,兵庫県伊丹市(トラック) 大阪夕駅(鉄道) 札幌夕駅,宮城野駅,東京夕駅,新潟夕駅,名古屋夕駅,高松夕駅,福岡夕駅(トラック) 各地の営業所						
貨物	品目	宅急便 流動機材 メール便			貨物量	宅急便 640トン 流動機材 11,700トン メール便 3,011トン		
CO2排出量	現行	1,456.9 t-CO2/年	転換後	283.5 t-CO2/年	削減量	1,173.4 t-CO2/年	削減率	80.5%
補助金申請額	12,587,820円(12,587,820円、 0円)							
施策効果	93.4 t-CO2/百万円・年							
備考	片道							

